

知識は授けてもらえばいいという話

私が6ヶ月という短期間で
フリーランス(月収35万)になれたのは
間違いなくドガポンを運営している
ライアートプロモーション代表山田さんから
知識を授けてもらったからです。

前回お伝えした通りですが
結果を出すために必要なことを
順番通りにこなしていくことさえできれば
フリーランスになることができます。

もちろんそれ以上の世界に行くこともできます。

思い返してみれば、山田さんの
コンサルを受けるためにお金を払う瞬間。

クレジットカードの決済ボタンを押す
あの瞬間はビビり倒していました。

3万と5万のコースがある
ドガポンよりももっと高額でした。

当時23歳、社会人1年目。貯金15万。
薄給は社員には大きすぎる金額でした。

「もしこれで結果だせなかったらどうしよ...
返済だけでもボーナス吹っ飛ぶぞ...」
怖くて怖くて、金額を聞いてから支払うまで
大金、ローン、失敗のネガティブワードが頭の中をぐるぐるしていました。

決め手は、山田さんへの信頼と
「でも何もしなかったらこのままだしやってみるか」
という半分博打のようなものでした。

そして結果はオカモト物語でお話した通りです。

6ヶ月でフリーランスになれて
支払った金額はすぐに回収できました。

場所を選ばず仕事ができるようになり

日本全国を旅して回ったり
友達が増えたりしました。

お金持ちとも繋がれたり、
女の子と話すのができるようになったり、
チームでの仕事の楽しさを味わったり、
自信が持てたり、毎日が楽しくなりました。

もし、あのときビビってしまい断っていたら
どうなっていたかと考えるときがあります。

私の性格なので
何をすればいいのか、これで合ってるのか？
とどんどん不安になっていき
2ヶ月もすれば挫折していたと思います。

そして、「動画編集なんて稼げない」
「ネットで発信してる人なんて嘘しか言ってない」
と、ネットで発信してる同年代を見るたびに
ひねくれた気持ちになっていたはずです。

会社は楽しくない、でも何かに挑戦する勇気もない。

飼い殺しのような辛い毎日が
待っていたと思うと恐怖で震えてきます。

あの時、学びをケチらなくて
本当によかったなと思っています。

知識を授けてもらうには
教材やスクール、コンサルを受けるなど
大なり小なりお金がかかります。

今だからこそ確信を持って言えるのが、
そのお金はショートカットのための投資だということです。

ピカソのこんなエピソードがあります。

...

ピカソが市場を歩いていると、ある婦人が呼び止めた。
彼女はピカソの大ファンで、絵を描いて欲しいという。

快諾したピカソは、さらさらと絵を描き上げた。
婦人は喜び、いくらなら絵を譲ってもらえるか尋ねた。

ピカソはこう言った。

「このスケッチは100万ドルです」

婦人は驚き、高すぎると言った。
たった30秒で描いた絵が、どうして100万ドルもするのか尋ねた。
するとピカソはこう答えた。

「いいえ、30秒ではありません。私は、これまでに30年もの研鑽を積んできました。だから、この絵を描くのにかかった時間は、30年と30秒なのです」

...

人から知識を授かるのはこれと同じです。

その人が何年との時間を使い
失敗もあったでしょう、試行錯誤をして
言語化した内容を教えてもらえる。

だから早く結果が出るのです。

山田さんが会社を立ち上げるまで、
そして立ち上げてから利益を拡大していくにあたって
どれくらいのお金、時間を使ったかを考えたら
あのコンサル費用は安かったのだと思いました。

自分の力だけで進めていくのは
先人が積み上げてきた事例がいくつもあるのに
無視して進んでいくようなもので
お金はかからないかもしれないですが、時間は数年単位で失うということです。

知識はお金で買えるのです。
だったら買ったほうがいいです。
ケチると結果が出るのに数年失います。

さらにいうなら、結果が出ないことがほとんどです。
結果が出ないということは、
もしかしたら叶えていたかもしれない理想を
叶えられない人生になるということです。

私は今の生活が馴染んでしまっているので
つまらない会社員を続けているなんてことは
考えられません。怖いです。

そこは思い切って自己投資してみるといいと思います。

ただし、偏った知識だと結果が出ないことがあります。

偏った知識とは、その人だから成功したやり方のことです。
これは再現性がありません。

あと、経験が伴っていない知識も避けた方がいいです。

スクール系でよくあるのが、
自分(自社)は結果を出していない、
過去結果を出したことはあるが現在はない
といったパターンです。

ノウハウが古かったり
机上の空論であることが多くあります。

その点は見極めです。
見極め方は極めて難しいです。
ので、話を詳しく聞いてみるに限ります。

私はこの知見があるので
ドガポンカリキュラムに
現役動画編集者を入れるのと、
会社のノウハウをすぐに落とし込み進化していく形を採用しました。

とにかく、学びはケチると
あとで大きな痛手となって返ってきます。

知識は授けてもらうべし、です。